家庭園芸

"十一月の園芸センターだより"

十一月三日の文化の日を中心に、大小さまざまな菊花展が開かれております。新潟県の第二十回菊花展は弥彦神社において、十一月一日～二十四日まで、また園芸センターでは、菊作り講座受講生による菊花展が十一月三日～九日（午前中）まで開かれます。この機会にご覧になり、これからの菊づくりの参考になさってください。

園芸センターの木々もひと雨ごとに紅（黄）葉を増し、冬仕たくをはじめております。月末には初雪のたよりも聞かれるようになると、庭木・鉢物の冬囲いをしなければなりません。松の雪つり、サツキ・ツバキの枝折れ防止、鉢もののり込み等、きぜわしい時期でもあります。お天気のよい日をみて、みなさまのご家庭でも準備にとりかかってください。

当センターの温室は、これから春にかけて一番美しい時期をむかえます。シクラメン・プリムラ類、シャコバサボテン等の鉢花が咲き競い、洋ランのカトレア・シンビの秋咲き種も次々と花をつけております。どうぞご家族でおいでください。

ご相談は 園芸センター（☎86―1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

市場増築記念市民のつどい

中央卸売市場 セリに熱中

広くなった卸売場でセリを楽しむ市民

「百円、百十円、百五十円、ハイ百五十円」。威勢の良いセリ人の声が広い室内に響き渡り、野菜やくだものが次々とセリ落とされていきます。

さる十月十九日に、中央卸売市場で卸売場の増築を記念し、合わせて市場の仕組みを知ってもらおうと「市民のつどい」が開かれました。

当日は次から次へと六千人の市民が会場を訪れ、セリや量目当てゲーム、魚つりゲームに興じ、一杯の野菜を手にニコニコ顔でした。

用意した野菜やくだものは全部で五、六トン、新鮮でしかも市価の半値以下とあって、二時間足らずの間に全部売り切れてしまいました。

会場の人気の的はなんといってもセリコーナー。自分の希望する値段でセリ落とせるとあって、多くの市民が集中しました。量目当てゲームは野菜やくだものの入っているビニール袋の重さを当てるとその品物がもらえるとあって長い行列ができました。

子供向けには魚つりゲームを用意。釣った魚の数に応じてりんごや高級品のメロンが賞品とあって、チビッ子たちは夢中になって挑戦していました。

市長随想

市民にお詫びする

月一回の執筆だけれども、今月はいつもの気分で書く気にはならない。

私は駅南開発にかかる不祥事について心からお詫びする。市長に就任して以来、事務処理などの面で市民の批判や議会のお叱りをうけたことはもちろんある。これだってゼロであることは望ましいにちがいないので、できるだけの努力はしなければと思う。

昭和三十年、二代目民選知事北村一男さんが登場した。北村さんは人間味豊かな反面、非常にきびしい一面をもっていた。職員の失敗について一度は許すが同じことに二度は許さなかった。この意味したものは、その文字のとおりのほかに、私は、職員が失敗を恐れるあまり、石の橋をたたいても渡ろうとしないことを戒めた。すなわち、小さな失敗を恐れないで県民のために、積極的に仕事をやれという受け止め方をしたのだった。

この「失敗」の中には、今回のような破廉恥な行為はもちろん入っていない。これは私を含めて誰もが最も忌み嫌うものだ。一度だって許すわけにはいかないものだ。幸い市長就任以来このようなことが一度も発生しなかったことを、ひそかに喜んでいたのであった。

こんなものにはあさましい非人間的な行為しか存在しないし、そのことがすべての善良な市民の、力を合わせてまちづくりをしようと積み重ねられてきた信頼と実績を崩してしまうことになる。信頼を確かなものにするには、長い時間と努力が必要であるが、それを失うにはいささかの力も時間もいらない。今回の事件は非常に残念だがしかし私は負けてはいられない。すべての職員は奮起してほしい。市民と行政との信頼関係のないところに市政は存在しないことを知っている。

私は失われた部分を一日も早く回復して、再びいまの路線を力強く歩くことにする。

（十月二十日）

新潟市長　川上七八郎

消費者が野菜産地を見学

なぜ曲りキュウリは出ないの？

野菜生産者と消費者の相互理解を深めようと、十月十五日に"くらしのレポーター"二十七人が市内の野菜産地を見て回りました。

一行は、まず石山地区でカリフラワー畑を見て回り、次に曽野木地区でトマト、キュウリのハウスを見学しました。

その後、曽野木農協で地元生産者と一地場物野菜の生産と市内消費について"をテーマに懇談に入りました。

懇談会では、消費者側から①残留農薬のない野菜はつくれないのか②形の悪いまがりキュウリも出荷してほしい③昔にくらべてしゅんの味がなくなった。季節はずれの野菜を消費者に押しつけているのではないか――。一方、生産者側は「まがりキュウリを出荷しても生産費も出ない。八百屋でも一番最後まで売れ残っている②野菜に季節感がないというが、ハウス栽培は消費者が求めている。露地物にくらべハウスは通年的に安定して品物を供給できる。出稼ぎもなくて良い――という意見が交されました。

学校自慢 (25)

砂丘にアスレチック

～太夫浜小学校～

緑いっぱいの丘の上に建つ太夫浜小学校の第一の自慢は、自然にめぐまれたすばらしい環境です。遠く飯豊の山々まで一目に見わたせるながめは、私たちの心まで広くしてくれるような気がします。

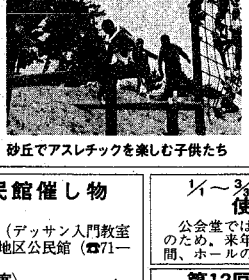
学校の天然の砂丘は、業間マラソンのコースであり、みんなの遊び場でもあります。今年は創立二十周年なので、地域の人や父兄の方々がその砂丘にアスレチックなどみの遊具を作ってくださったので、楽しい砂丘公園に生まれ変わりました。

次はなんと言ってもスポーツが盛んなことです。特にサッカーは、全国大会に四回も三回も出場／女子バスケットは、毎年南浜地区大会でも連続優勝！

小さな学校でも、どこにも負けないファイトは、もう一つの自慢です。

五十嵐明子（六年一組）

メモ　太夫浜（二〇四五、児童数二百三人、昭和二十五年創立、加藤国男校長


砂丘でアスレチックを楽しむ子供たち

電子オルガン

道志郎・西村ユリ ジョイントコンサート

日時　十一月二十六日午後六時～七時

会場　音楽文化会館

曲目　トン子の音楽日記、ロミオとジュリエット、キラキラ星変奏曲、カルメン組曲、ウエストサイドストーリーほか

入場料　千五百円（カネコ楽器、しろせ楽器、大和デパート、名曲堂、名店デパート、ヤマハ新潟センター、音楽文化会館）※当日千八百円

問い合わせ　音楽文化会館（☎24―五八一一）

青年のひろば リーダー研修のつどい

日時　十一月七日～十二月五日毎週金曜日午後六時～七時三十分

定員　四十人（先着順）

申し込み　十一月六日までに青年の家（☎44―四八二八）へ

会場　市青年の家（弁天一）

	内容	講師
11. 7	○開講、オリエンテーション ○青年の家グループ・サークル活動調査の分析（その1）	新潟大学助教授 吉川弘
11. 14	○〃（その2）	〃
11. 21	○グループ・サークル運営の知識・技術（その1） （会議のすすめ方）	県青少年研修センター指導員 荒木快英
11. 28	○〃（その2） （広報紙・機関紙編集入門）	新潟日報販売㈱ 柳沢正孝 新潟日報販売局 山添肇
12. 5	○〃（その3） （つどいの演出にレクリエーションダンスを） ○閉講	日本レクリエーション協会 2級指導者 小林博

※この研修は日本レクリエーション協会公認指導者検定に必要な単位の一部にあてられます。

QKオープンスタジオ'80

―新潟放送会館公開―

日時　11月8～9日午前10時～午後5時

☆あなたもカメラマン
手のひらにのるあなた―テレビカメラのトリックなど（テレビスタジオ開放）

☆こどもアニメ映画会（未来少年コナン）
9日午前10時から（三つのものがたり）

※このほか、NHK特集シルクロードビデオやリクエストアワー公開など

シルクロード開放講座

日時　11月11日午後6時半～8時半

会場　中央公民館5階ホール

テーマ　シルクロードを旅して（130日間取材活動のうら話）

講師　和泉信哉（NHKプロデューサー）

定員　100人（先着順）

申し込み　電話で中央公民館（☎23―7070）へ

坂井輪公民館会員募集

クラブ名	代表者	日時	募集人員
版画	川田紀代江 ☎31―5232	毎月第1・3水曜日 午後1時から	20人
油絵	小村一二三 ☎61―0520	毎週火曜日 午後1時から	20人
木版書道	南部芳郎 ☎69―4305	毎月第2・3・4水曜日 午前10時から	20人
木彫	吉川木舟子 ☎69―2886	毎週金曜日 午前10時から	10人
ギターエハイグリーン	小林久美子 ☎69―2078	毎月第2・3・4水曜日 午前10時から	20人

申し込み　各代表者へ

いけ花教室（小原流）

日時　11月12日から第2・4木曜日午後7時～8時半

会場　鳥屋野地区公民館

定員　15人（先着順）

申し込み　電話で阿部悦（☎83―2703）へ

中地区公民館催し物

会場　中地区公民館

申し込み　11月4日（デッサン入門教室は6日）までに、中地区公民館（☎71―0017）へ

〈デッサン入門教室〉

日時　11月7日～12月19日（毎週金曜日計7回）午後6時半～8時半

内容　デッサンの基礎技術習得

講師　小林和夫（木戸中教諭）

定員　30人

経費　1,500円程度（材料費、運営費）

〈中央婦人学級〉

日時　11月5日～来年3月4日（毎月第1水曜日計5回）午前10時～正午

テーマ　「女性と家族とのかかわり方」「女性と教育、文化について」など

講師　浅妻康二（県立女子短大教授）、小松和子（元教員）、谷沢隆一（元小学校長）

定員　40人（婦人）

経費　500円（テキスト代、運営費）

1/1～3/31 公会堂のホールは使用できません！

公会堂では、舞台吊物機構の改修工事のため、来年1月1日～3月31日までの間、ホールの使用はできません。

第12回市展 ～搬入は10日～

会期　11月12～16日

会場　県美術博物館、震災ホール

搬入受付　11月10日午前10時から午後3時、展覧会場にて受け付け

部門　洋画、日本画、書道、彫刻、工芸、版画、写真

出品料　1点1,000円（1人2点まで、写真のみ3点）

問い合わせ　市社会教育課（☎25―1000）へ

親子映画会

日時　11月2日午後1時から

会場名　木戸公民館

題名　「ちびでか物語」「おむすびころりん」ほか

会費　材料費など実費